

向陽中だより



本校生徒会キャラクター「ひま SUN」

第7号

令和2年11月26日

杉並区立向陽中学校

<教育目標> ◎ よく考える人 ○ 思いやりのある人 ○ たくましい人

1時間の学びの大きさ

校長 中谷 愛

2学期の授業では、マスク着用という新しい生活様式の中で、本校の教員が、本来の授業で大切な「対話的な学び」や「体験的な学び」を順次取り入れて進めていっています。

<数学の授業の一場面>

図形の相似を証明するための論理を学ぶ授業では、証明できる条件を確認した後、どの条件に着目して説明するかを3年生の生徒一人一人がそれぞれ考え、授業のまとめの時に共有し合います。授業では、ペアを組んで一人の生徒がもう一人の生徒に教える場面などもあり、一人で解決できないことを友達と一緒に考えながらクリアできるようになっていました。「じわり」とこみあげてくるその達成感を、一人だけでなく皆で味わうことができ、1時間がとても充実していました。

<国語の授業の一場面>

竹取物語の原文を国語の先生が現代版に解説していきます。その語りをしばらく聞いているとすぐに内容にひきこまれていきます。そして、1年生の生徒は、求婚を申し出てきた複数の男性のなかで、姫が誰を選ぶのかを考えます。とてもシビアな分析のもとで、様々な意見が活発に出されていました。次々と意見を出し合っているうちにあっという間に過ぎていく1時間を通して、生徒達は登場人物の心情を深く理解することができていました。

<総合的な学習の時間の一場面>

過日、教員や生徒が協力して実際に人の命を救うことができた快挙のニュースがあり、「練習したことを思い出し、実践につなげることができた」とのインタビューが紹介されていました。本校でも、2年生の授業で杉並消防署の方々を講師としてお迎えし、救命講習をシミュレーションしながら学びました。いざというとき、119番をする人、AEDを持ってくる人、換気ができているか窓を確認する人、胸骨圧迫をする人・・・など、役割分担が大切とのことでした。

先日、都立豊多摩高校の吉田 寿美校長が本校に進路説明に来てくださり、3年生に向けて次のようなメッセージを送ってくださいました。

「受験まで3か月もあります。この3か月をどう過ごすか。悩む時間に充てていくよりは、勉強していく方がいいです。受験は上級学校のスタートでもあります。本校は職員室の前の自習席で夜7時過ぎまで勉強ができるようになっていて、生徒が利用しています。今の皆さんの勉強が充実していくことは、4月からの学校生活が円滑にスタートすることにつながります。」

時間がたつことを忘れる程、勉学に夢中で取り組めるのも学生だからこそできる経験であり、生徒の皆さんにとって貴重な今が、充実した1時間の積み重ねを通じて力を付け、成長していく時間であることを願っています。